

平成 30 年 4 月 14 日

平成 29 年度 P T A 第 8 回運営委員会

あしたのあさひ



～ P T アクションと校長室をつなぐ～

県立旭高等学校長 古谷康司

平成 30 年度新入生の保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。P T A の入会式で毎年お話ししていますが、「親子で輝く旭高校」という目標を掲げ、着実に進んできた P T アクションは、本校の特色として成長しています。

新入生の保護者の方の P T A 委員決めでは、多くの方からのご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。役員、委員の方はもちろん、会員の皆様が実感できる「親子で輝く旭高校」を目指してまいります。これからも、ご理解とご協力をお願いします。

第 7 号（3 月発行）にも書きましたが、「**様々な情報から自分が必要なものを選択し、論理的にまとめ自分の考えとして表現する**」。これを「**アウトプットする力**」として、様々な教育活動における目的と定め、具体的な教育活動を通して成果を出していく所存です。その中で、入学式での新入生代表の言葉は、自分の考えをしっかりと表現していました。旭高校の 3 年間の学びで、社会で活躍できる力を身につけさせたいと考えています。

始業式では、「考える力」「伝える力」を身につけるとともに、3 年生にはリーダーシップを発揮し旭高校らしさを追求すること、2 年生には高い目標を掲げ旭校生らしい姿を追求することと伝えました。大いに期待しています。

平成 29 年度の学校評価について、P T A 役員に保護者の視点からのご意見を伺いました。学校からの情報、特に 3 年生の保護者は進路選択にかかる情報をたくさん知りたいという声をいただきました。ご期待にこたえられるように努めてまいります。そして、これからも、皆様の声を生かしてまいります。